

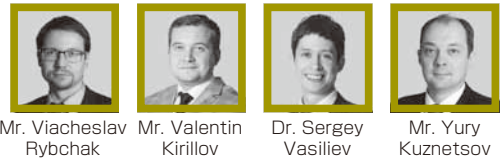
ロシア知的財産制度の最新事情 ～ロシアビジネスで考慮すべき知財実務～

難易度
上級

平成 28 年 10 月 20 日 (木) 13:00~17:00

講師 **ロシア Gorodissky & Partners 弁護士**

コーディネータ **黒瀬 雅志 氏**
 黒瀬 IP マネジメント 弁理士



知財裁判所の創設、知的財産法(民法第4部)の改正など、WTO加盟後、ロシアの知財制度が整備されています。この講座では、今後の拡大が見込まれているロシアビジネスにおいて、日本企業が考慮すべき知財実務について、ロシアから Gorodissky & Partners 事務所の弁護士を招いて解説を行います。また、参加者の理解をより確かなものにするため、黒瀬雅志弁理士がコーディネータとして参加し、日本の実務者の視点で知財制度の解説を行います。講義においては、出願手続を含む最近の知財法の改正内容を概説した後、ビジネスにおいて重要なライセンス問題、営業秘密の保護、知財権のエンフォースメントの実際について解説します。また、昨年発足したユーラシア経済連合における知財制度の整備状況について解説します。

- 【講義内容】**
- | | | |
|-------------------|--------------------------|---|
| 1. 最近の知財法改正の概要 | 4. 知財権侵害に対するエンフォースメントの実務 | ◆会場：発明会館7階 研修ルーム
◆定員：先着50名
◆受講料：会員：0円・一般5,000円(消費税8%込み)
(※会員(一社)発明推進協会、(公社)発明協会、各地域協会のいずれかの会員) |
| 2. ライセンス実務に係わる留意点 | | |
| 3. 営業秘密の保護対策 | | |

◇本講座は、ロシア及びロシア周辺国におけるビジネスを予定している企業の知財担当者や、ロシアの知財実務を担当する弁理士、弁護士にお勧めします。日本の実務者の視点で解説を行います。

書籍「競争力を高める特許リエゾン」出版記念講座

発明発掘フレームワーク

“埋もれた発明”を掘り当てて価値ある特許出願につなげよう



難易度
中級

平成 28 年 10 月 28 日 (金) 14:00~17:00

講師 **小林 淳一 氏** 特許業務法人 志賀国際特許事務所 弁理士



本セミナーは昨年12月の「競争力を高める特許リエゾン」発刊を記念した企画です。日々の製品開発で次々に発明がなされているにも関わらず、開発現場ではそれが“発明”とは認識されずに放置され“埋もれた発明”になってしまうことがあるのです。このような“埋もれた発明”の中には、もしかすると企業活動にとってきわめて重要な発明が含まれているかもしれません。リエゾンはフランス語で「仲介、つなぎ、橋渡し」等を意味します。研究開発の成果である発明アイデアを発掘し、事業に必要な権利化をサポートすることは大変重要な業務となっておりますが、経験や目利きが必要です。本セミナーでは、企業の研究開発現場に入って、コーディネータを担当し実績を上げている弁理士が、その経験に基づく抽出方法や効果的な手法として確立したノウハウから「発明発掘フレームワーク」を紹介します。

- 【講義内容】**
- | | | |
|-----------------------|---------------------------------|---|
| 1. 自社製品の開発フローを把握しよう | 4. 発掘ツール「課題-技術要素マトリクス」 | ◆会場：発明会館7階 研修ルーム
◆定員：先着50名
◆受講料：会員：0円・一般5,000円(消費税8%込み)
(※会員(一社)発明推進協会、(公社)発明協会、各地域協会のいずれかの会員) |
| 2. 発明発掘の進め方 | 5. 「課題-技術要素マトリクス」を利用した“戦略的”特許出願 | |
| 3. 求められるファンリテーション・スキル | | |

◇本講座は、開発部門から発明をピックアップする手法でお悩みの知的財産部員にお勧めします。